個人投資家向けＩＲセミナー資料

東証スタンダード市場　証券コード:7677

株式会社ヤシマキザイ

2025年 8月 27日

（主催：公益社団法人日本証券アナリスト協会　会場：北浜フォーラム）

YASHIMA

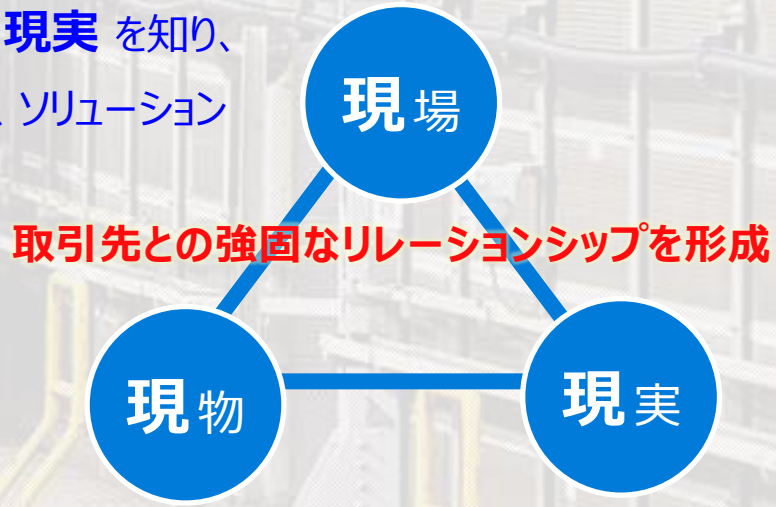
株式会社ヤシマキザイとは

鉄道業界を主な市場として、商材やサービスを提供する商社です

３現主義を基軸に、鉄道業界で重要なポジションを確立しています

３現主義とは

顧客の **現場** に足を運び、**現物** に触れ、**現実** を知り、顧客のニーズをくみあげ、仕入先に展開し、ソリューションを組み立てることを意図しています。



目次

1. 会社概要 P. 4
2. 特長と強み P.14
3. 成長戦略 P.20
（2025年３月期～2027年３月期 中期経営計画）
4. 2026年３月期　通期業績予想 P.29
5. 配当・株主還元 P.34
6. トピックス P.38
7. ご参考資料 P.54

【ご注意事項】

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
そのため様々な要因の変化により、実際の業績は記述している将来見通しとは、大きく異なる可能性があります。

1.　会社概要

沿革

YASHIMA

■ 1948年に設立、旧国鉄との取引から始まり76年、鉄道の発展に寄与し成長

ヤシマキザイ主要商材

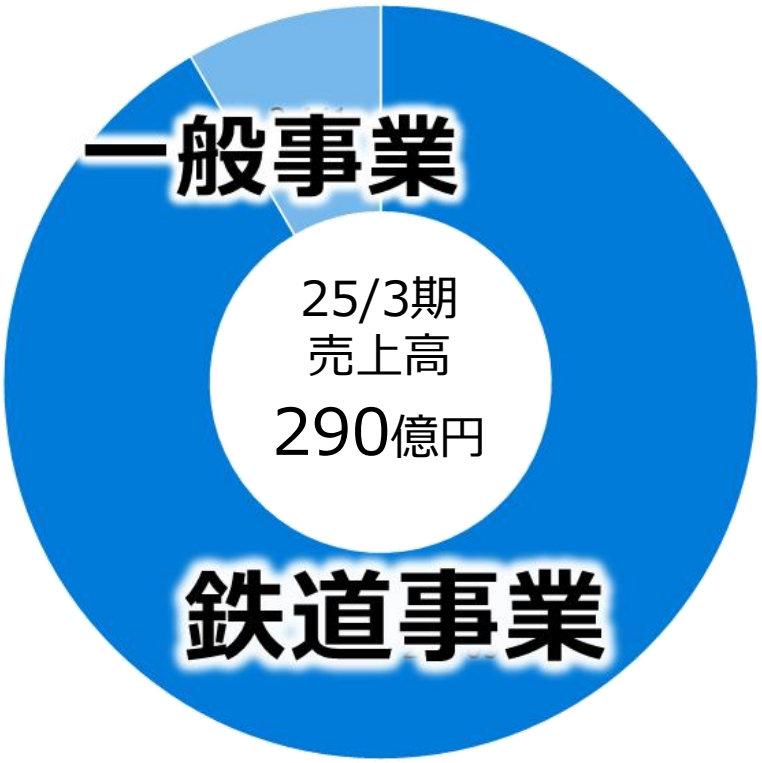
内燃機関 →	電化 →	高速化 →	IT化 →	グローバル化 →
1950年代	1960～80年代	1990年代	2000年代	2010年～

事業内容

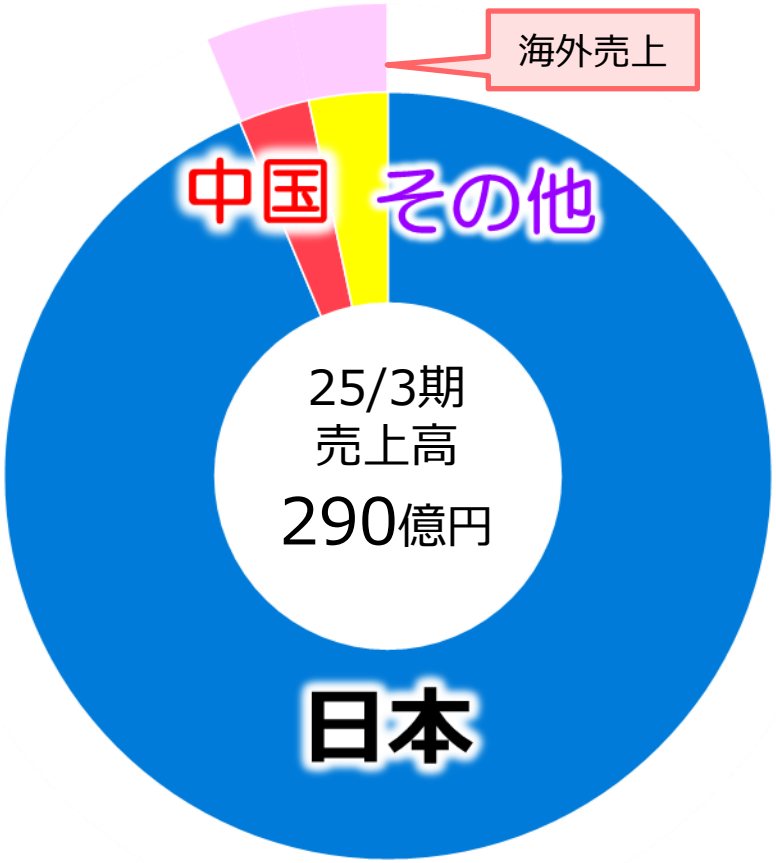
鉄道事業　鉄道事業者や車両メーカー等に車体用品、電気用品等を販売

一般事業　鉄道業界以外の産業機器メーカー等に電子部品等を販売

セグメント別　売上高構成比



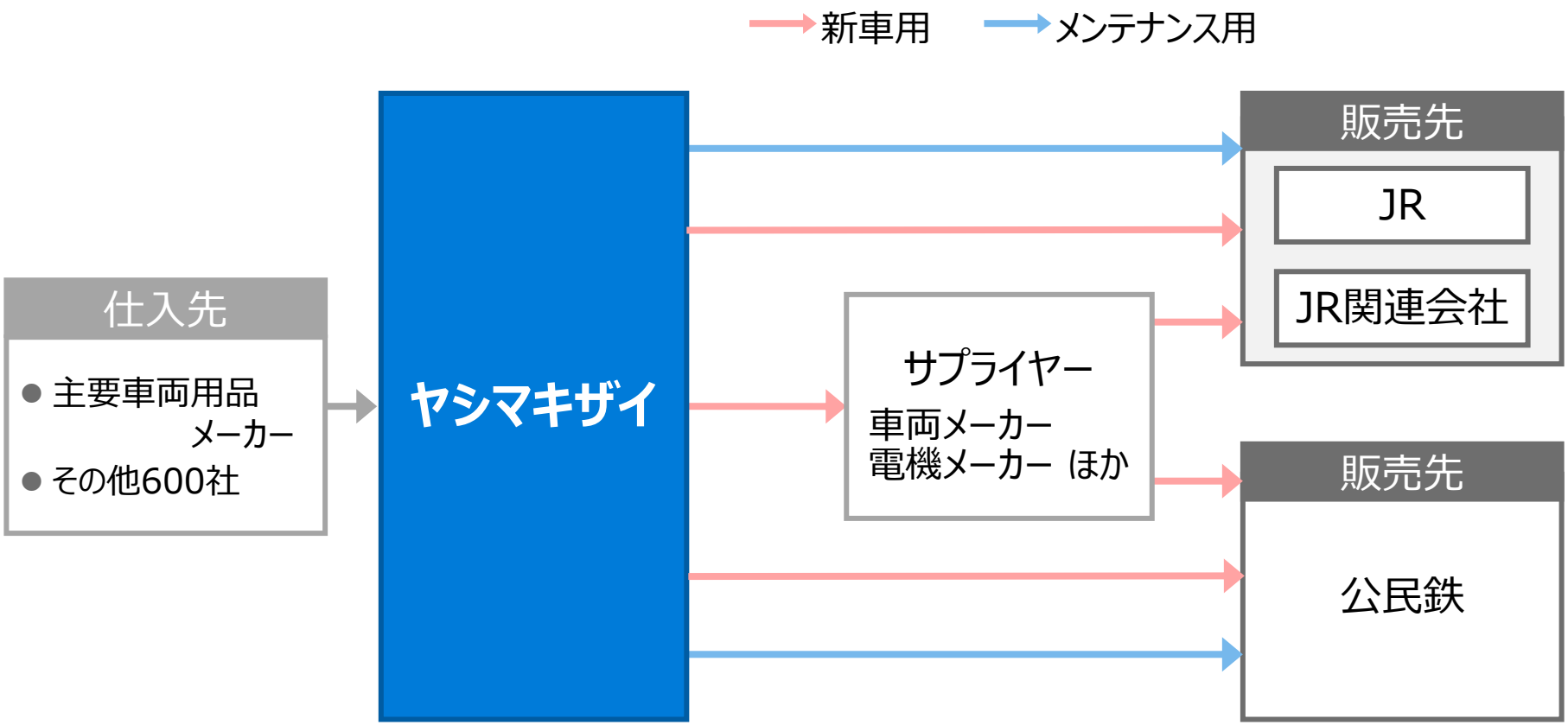
地域別　売上高構成比



鉄道事業のビジネスフロー

YASHIMA

- 仕入先は**日立製作所**、**日本航空電子工業**、**ナブテスコ**、**コイト電工**などの国内有数メーカー
  - JRはじめ鉄道各社と仕入れ先を結ぶ重要なポジションで商材を提供

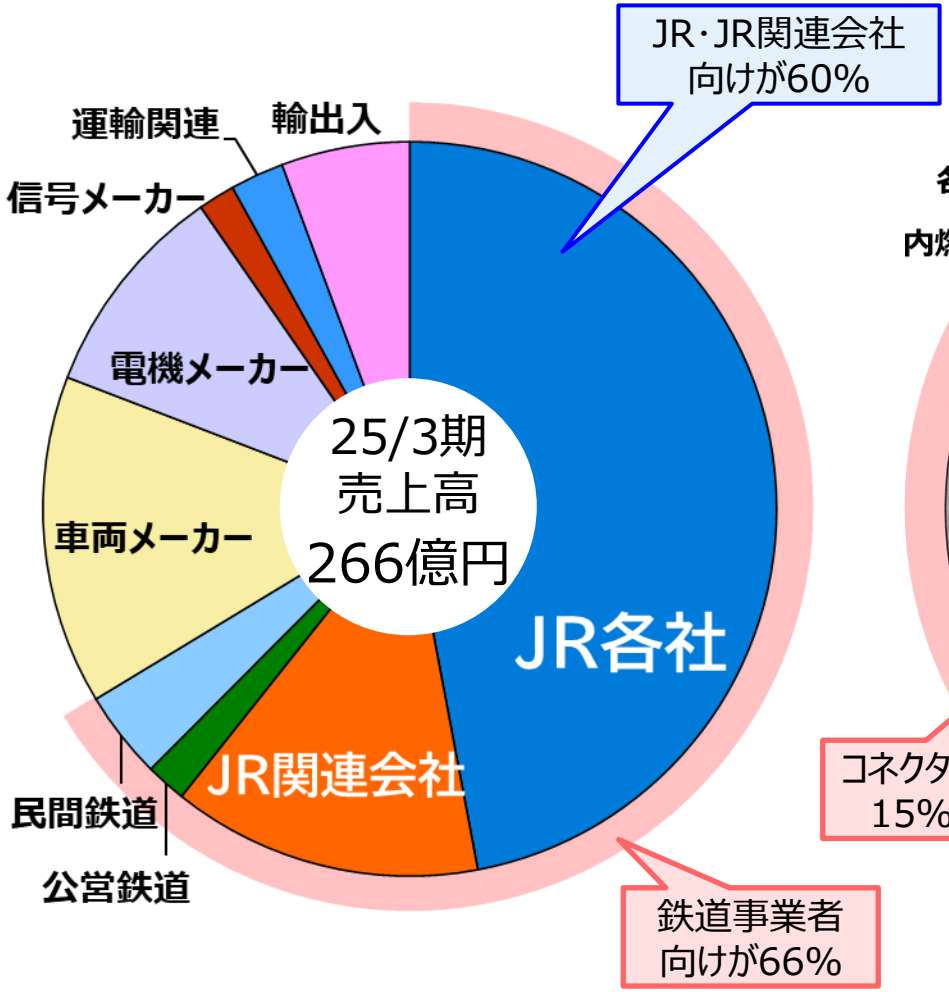


鉄道事業の売上構成

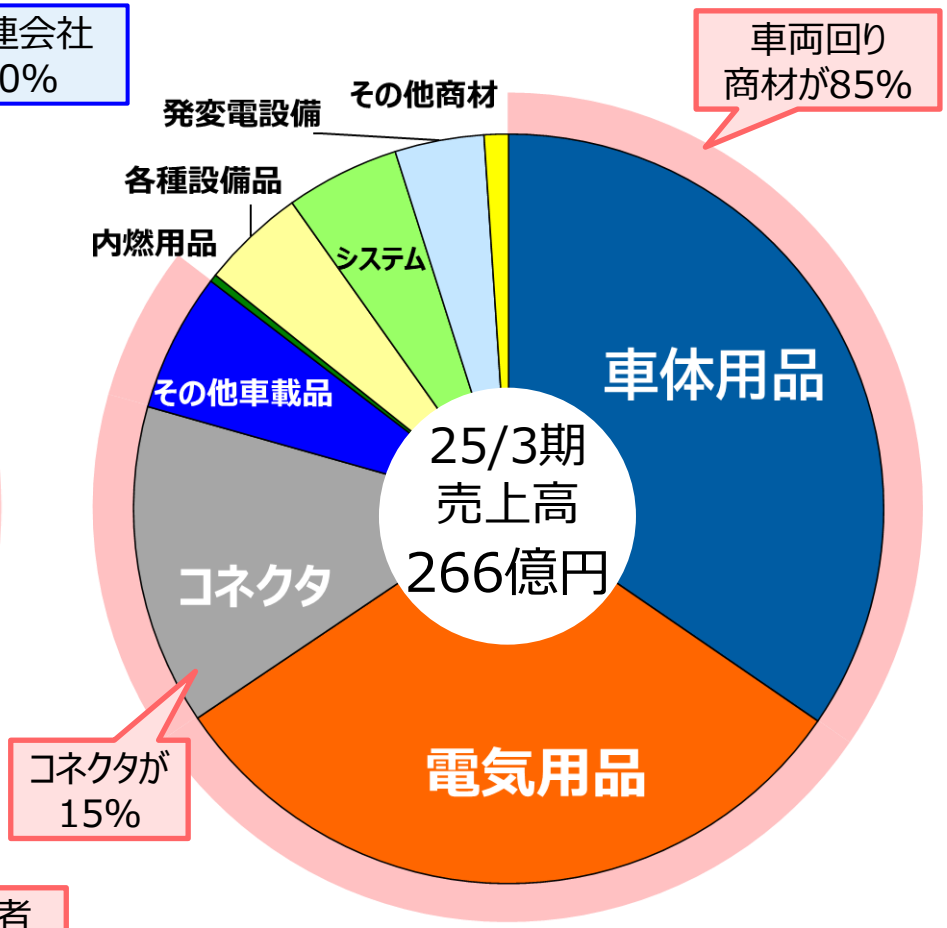
YASHIMA

■ 鉄道という特殊な条件に適合する9業界へ9商材を提供

9業界別　売上高構成比



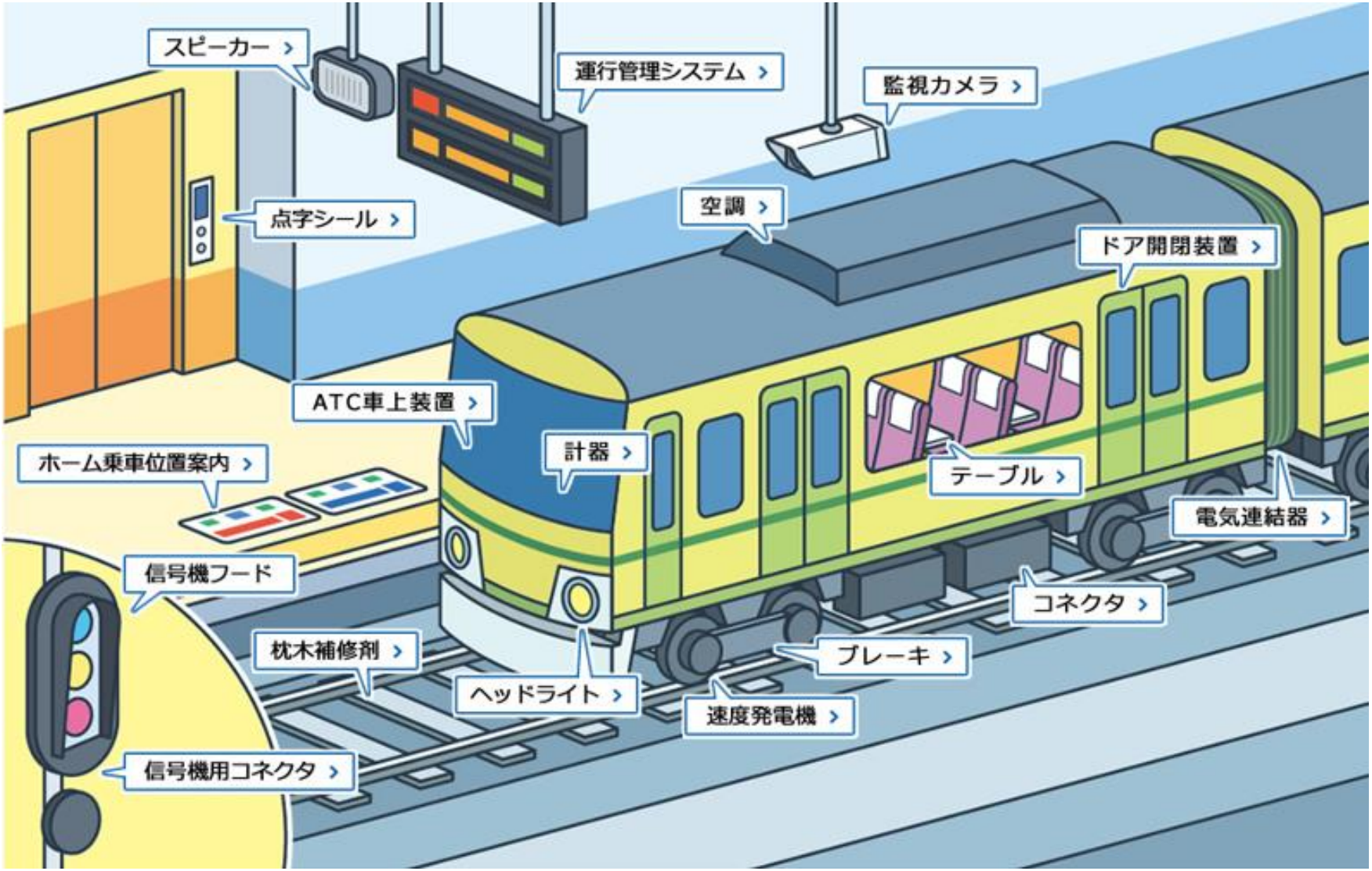
9商材別　売上高構成比



鉄道事業の商材①

YASHIMA

■ 車両周りをメイン分野とし、幅広い鉄道関連商材を取り扱う

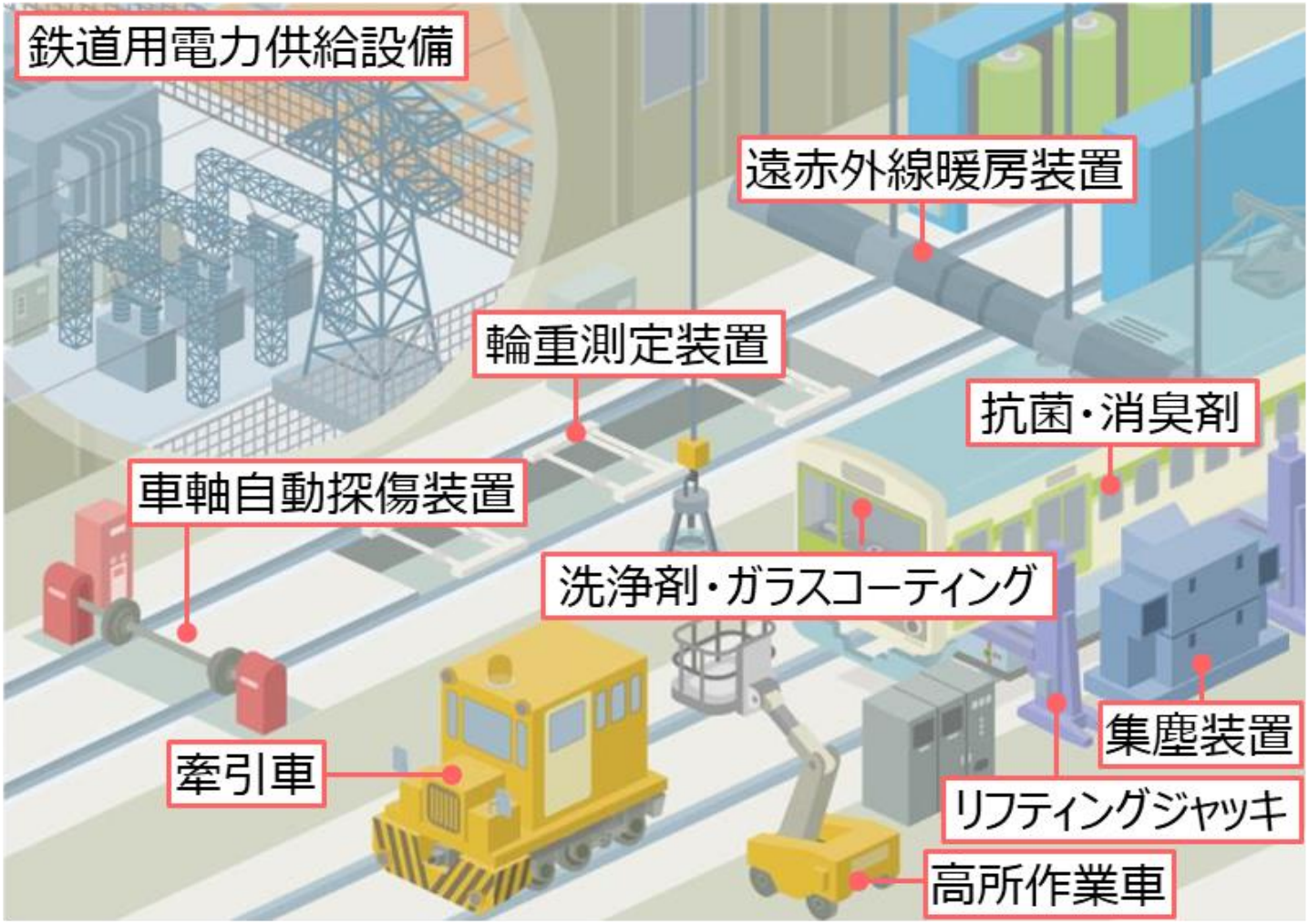


鉄道事業の商材②

YASHIMA

■ 車両周り以外にも、幅広く鉄道業界を支える

検修施設、駅などで使用するものや、電車の運行に必要なシステム、発電所・変電所の製品も扱う

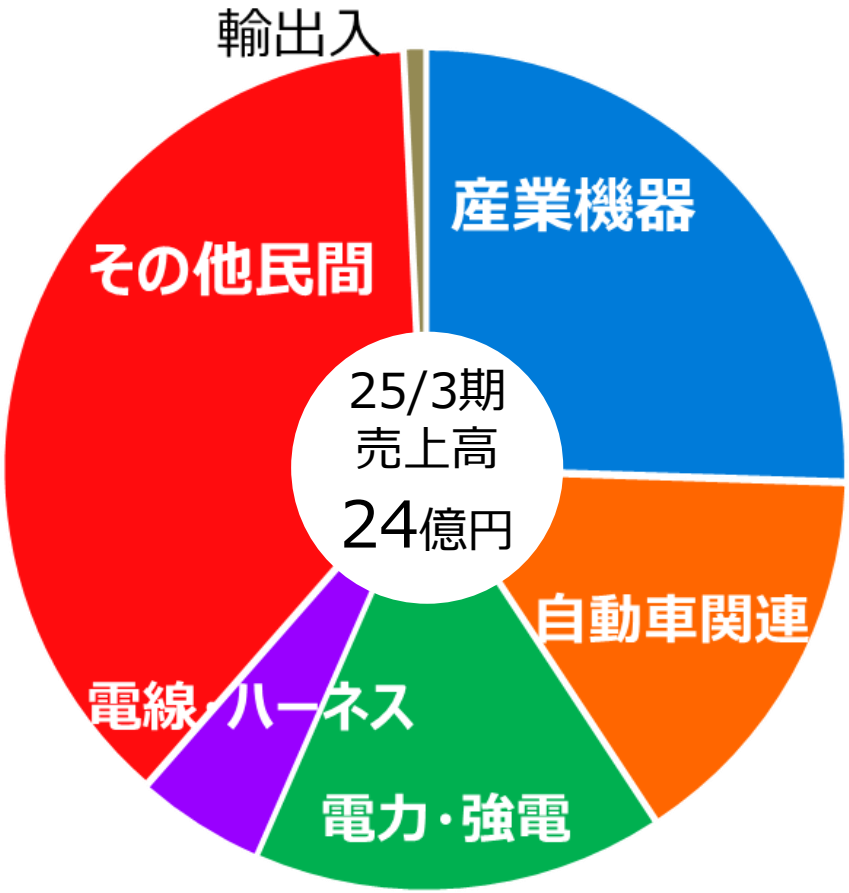


一般事業の売上構成

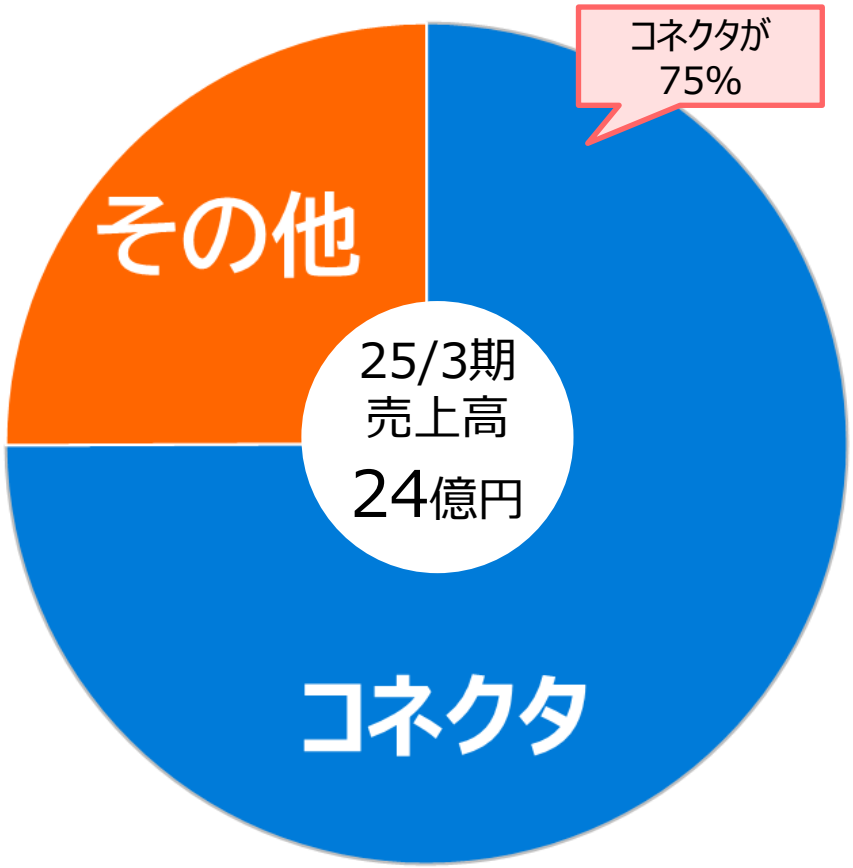
YASHIMA

■ 鉄道事業における販売先以外の6業界へ、コネクタ・電子部品などを販売

6業界別　売上高構成比



商材別　売上高構成比



一般事業の商材①

YASHIMA

■ 鉄道事業以外の販売先を対象に、主にコネクタ・電子部品などを販売

一般事業の商材②

YASHIMA

■ コネクタ以外の商材ラインナップも拡販中
（写真は道路インフラ業界向けに提案している商材）

移動電源車

トンネル向け融雪装置

落雷抑制型避雷針

ETC・サービスエリア向け融雪装置

2.　特長と強み

特長と強み

YASHIMA

創業以来76年、3現主義で築き上げた、顧客との強固なリレーションシップ

1 高い専門性と３現主義に根差した商社機能

2 業界で唯一、北海道から九州まで、全国を網羅するサービス網

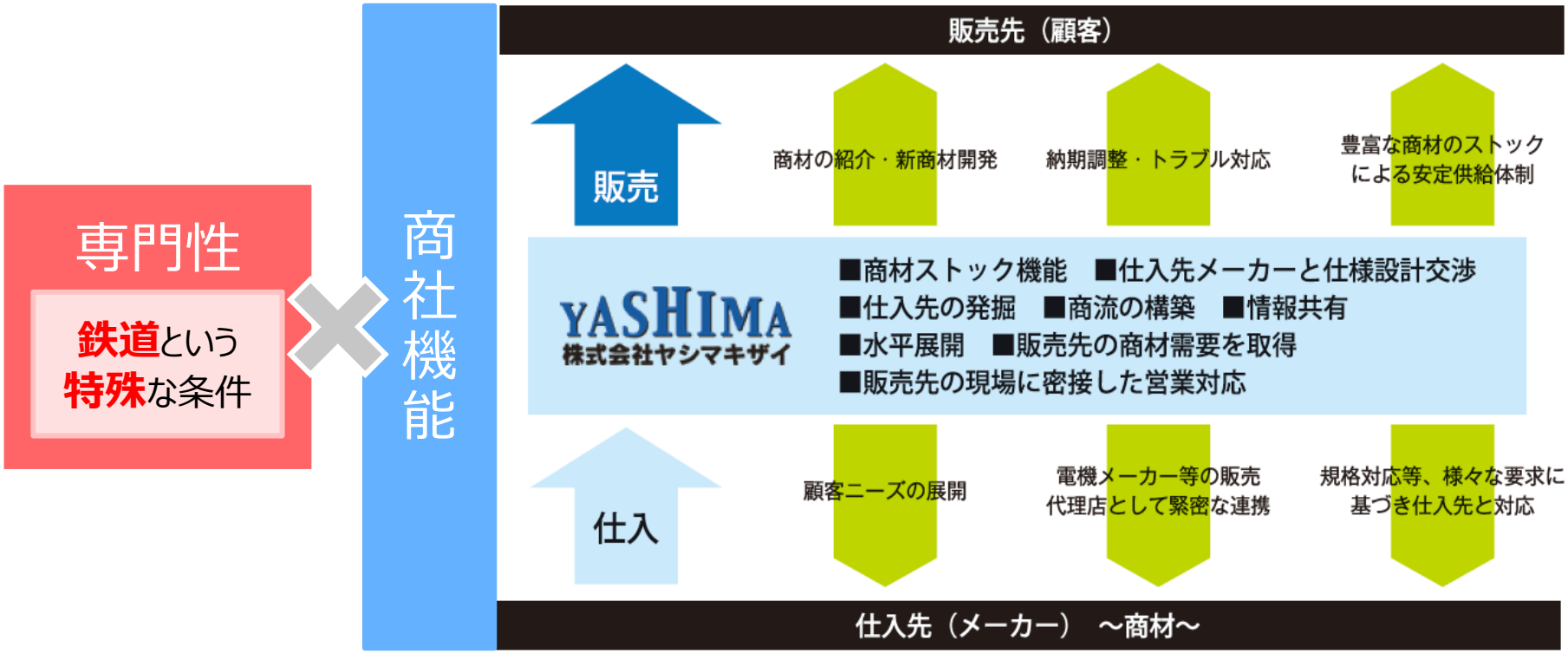
3 鉄道業界の水先案内人としての海外展開力

①高い専門性と３現主義に根差した商社機能

YASHIMA

■ 永く鉄道業界で培ったノウハウと、約600社の仕入先・中小メーカーとのパイプを活かし、顧客の実情に合わせた様々な商材を提案

⇨ **専門商社として、鉄道という社会インフラを支える**



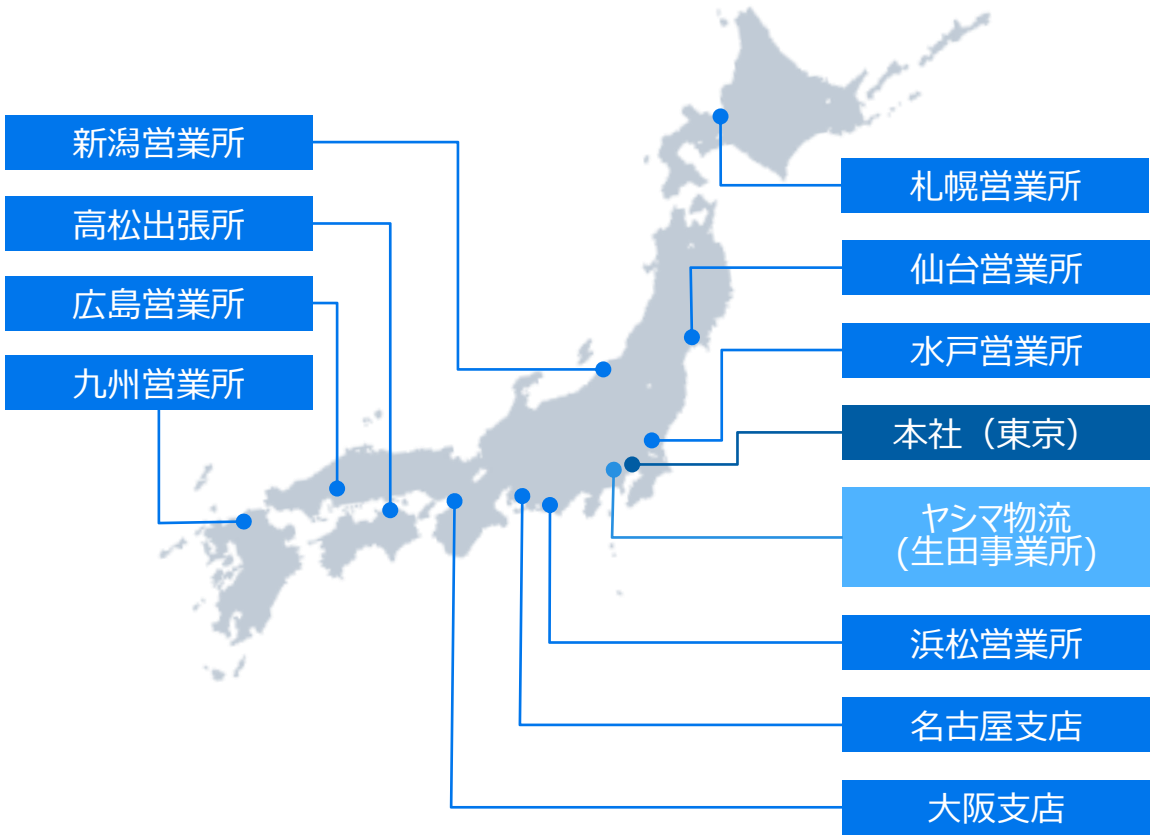
②業界で唯一、全国を網羅するサービス網

YASHIMA

■ 業界で唯一全国をカバーする現場力で差別化

大手企業ではカバーしきれない小回りの良さで、現場のニーズに根差した商品を提案

国内12拠点



東京本社

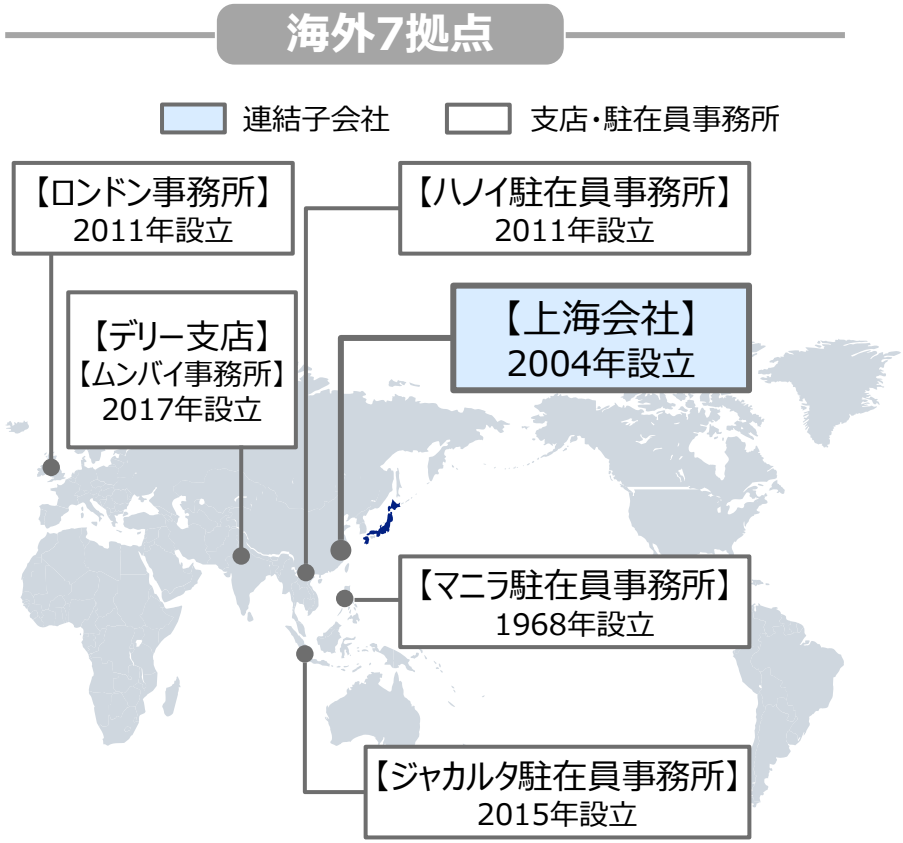
大阪支店

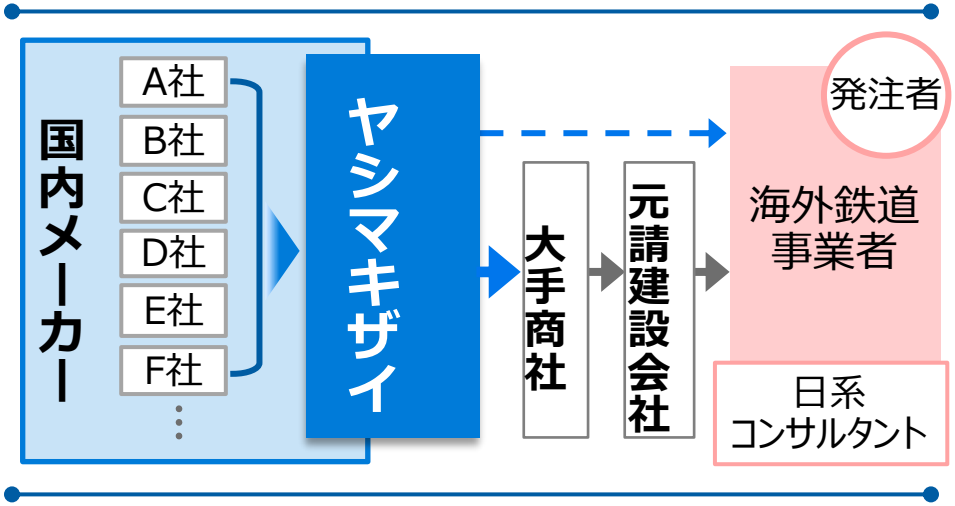
名古屋支店

③鉄道業界の水先案内人としての海外展開力

YASHIMA

- 国内で培ったノウハウを基に、海外への展開を進める
- ODA案件等で仕様交渉と商流構築力を実践





国内メーカーと海外鉄道事業者等を結び付け、仕様や納期の調整に加え、大手商社が持たない中小メーカーとのパイプ役として、存在感を発揮

3.　成長戦略
（2025年３月期～2027年３月期 中期経営計画）

YASHIMA

中期経営計画　基本目標

前中期経営計画が未達成に終わったことを受け、新中期経営計画でも基本目標・方針を引き継ぐ

1. 安定成長軌道への回帰
2. 新たな企業価値の創出
3. ＲＯＥ　５％超の達成

YASHIMA

中期経営計画　基本方針・戦略

全般事項

人的資本への投資を通じて
グループの成長力強化

ヤシマキザイグループとしての
連携強化、信頼回復・向上

YASHIMA

中期経営計画　基本方針・戦略

鉄道セグメント

既存事業の基盤強化と
付加価値の向上

成長発展分野の選定
次世代を担う新事業の開拓

基本方針③

YASHIMA

中期経営計画　基本方針・戦略

一般セグメント

一般セグメントの収益性向上
投下リソースに見合う採算確保

デジタル分野

AIを活用したニーズへの対応

海外事業

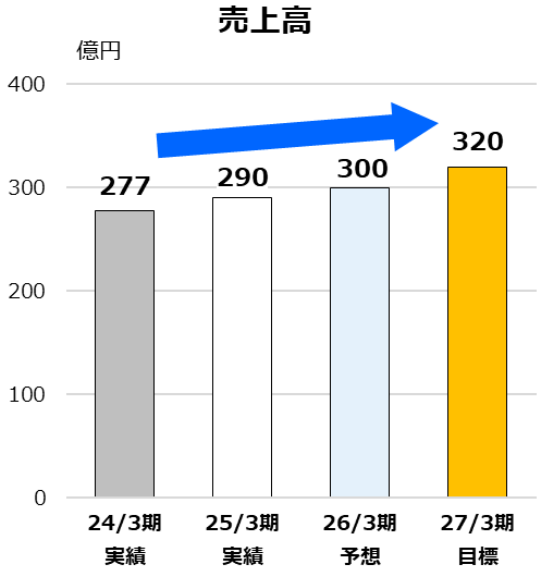
ODA鉄道インフラ整備案件への
参画を通じてグローバル市場開拓

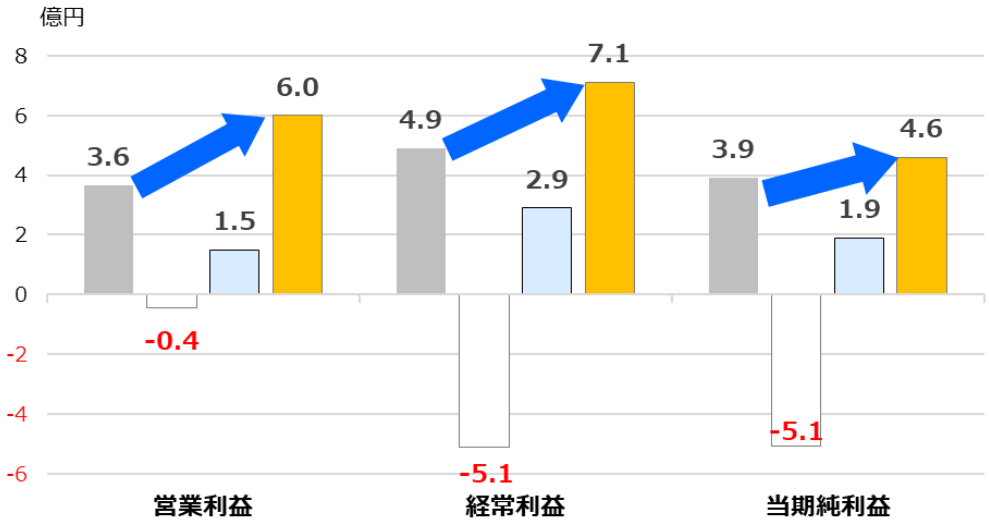
数値目標

現行の中期経営計画

（単位： 百万円）

	24/３期 実績	25/３期 実績	26/３期 予想	**27/３期 目標**	24/3期 比較
売上高	27,729	29,046	30,000	**32,000**	+15.4%
営業利益	364	▲ 44	150	**600**	+64.8%
経常利益	490	▲ 511	290	**710**	+44.9%
当期純利益	392	▲ 509	190	**460**	+17.3%
ＲＯＥ	4.1%	▲5.3%		**5.0%**	



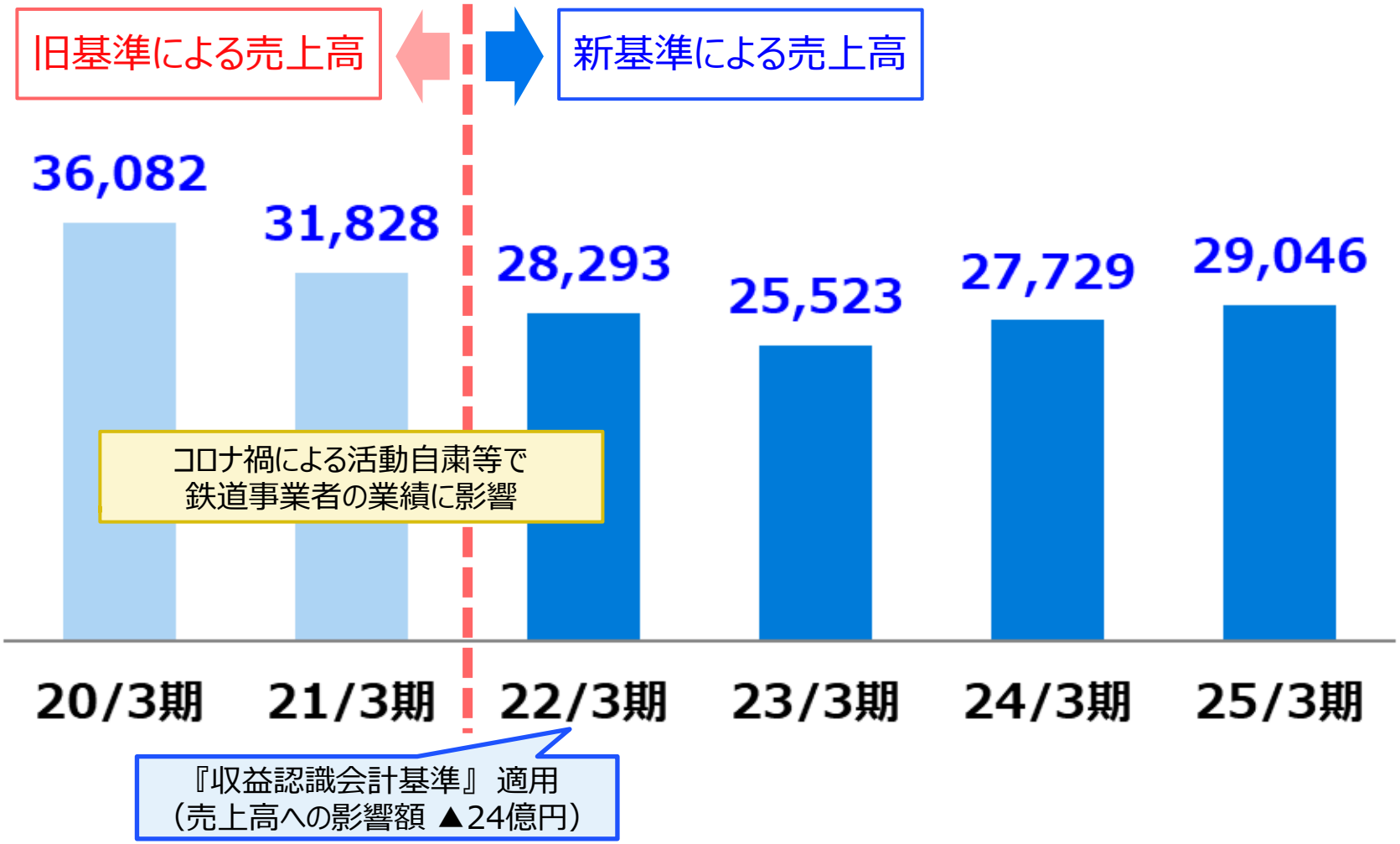


業績推移①

YASHIMA

■ インバウンド需要等に支えられ、主要顧客の鉄道事業者の旅客収入がコロナ禍から回復し、安全投資のほか、省力化・効率化のための投資意欲が向上

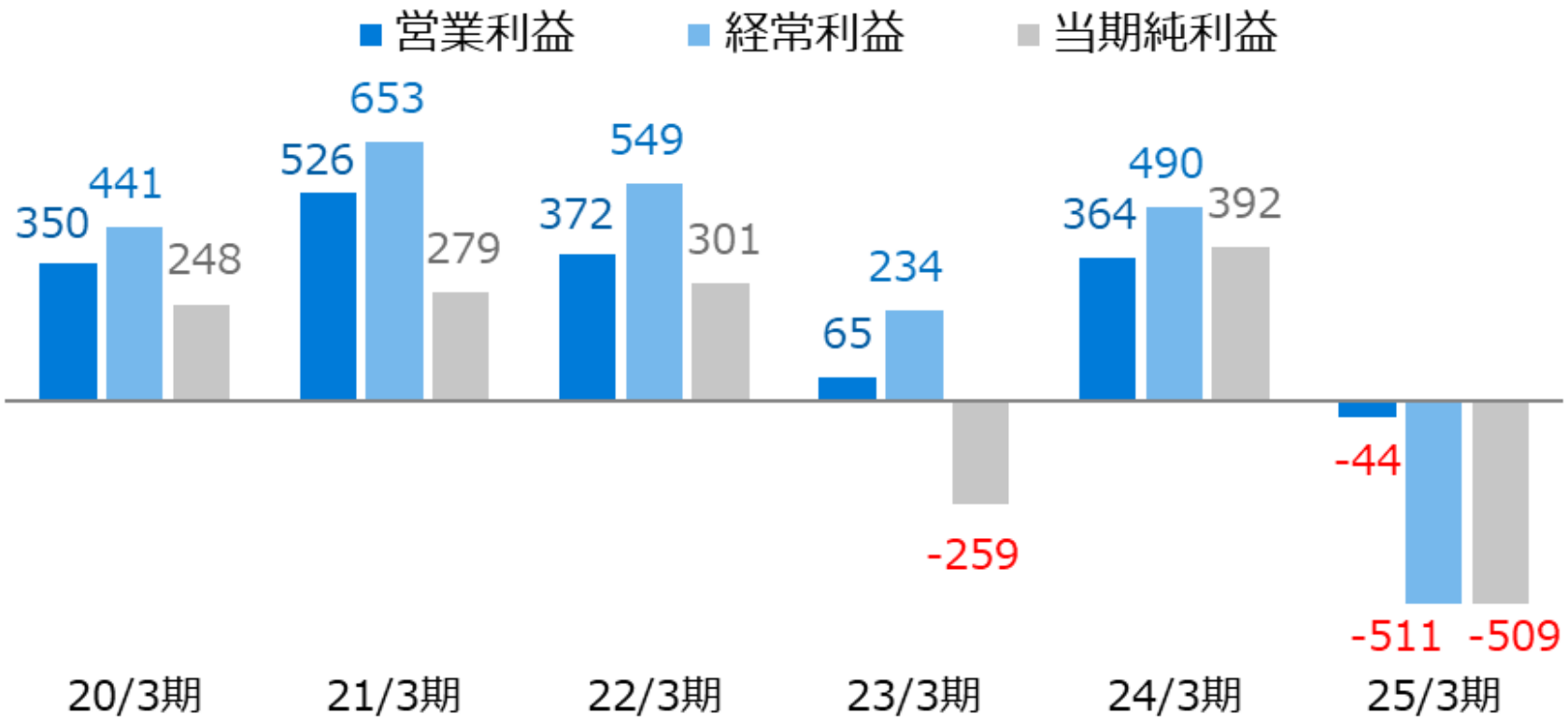
連結売上高の推移 (百万円)



業績推移②

- **23/3期**は不適切な会計処理の発覚により、売上の一部取り消し、また中国子会社の一部取引につき不正の疑いが払拭しきれず、対象取引先に対する未収入金について貸倒引当金（特別損失）を計上して最終赤字
- **24/3期**は、23/3期の未収入金を一部回収し、特別利益を計上して当期純利益が増加
- **25/3期**は海外展開の一環としてODA案件に元請として参画し、ノウハウの蓄積に努めた一方、工期の遅れ等により各種引当金を計上した影響で減益

利益の推移（百万円）



業績推移③

YASHIMA

■ 25 年 3 月期業績において大きな影響を及ぼした一時的な要因を除き、調整後の損益を算出すると以下の通り

(金額単位・百万円)	24/3期 実績	25/3期 調整前		25/3期 調整後	(調整後) 前期増減
売上高	27,729	29,046	売上高	29,046	1,316
営業利益	364	-44	調整後営業利益 ※1	304	-59
経常利益	490	-511	調整後経常利益 ※2	467	-23
当期純利益	392	-509	調整後当期純利益 ※3	332	-60

(調整の内容)

・※1　ODA案件における受注損失引当金(348百万円)を原価として計上した分を消去している
・※2　※1、および海外パートナー会社に対する貸倒引当金(228百万円)、
　　債務保証損失引当金(385百万円)、株式減損処理(17百万円)を計上した分を消去している
・※3　※1、※2によるもの

4.　2026年3月期 通期業績予想

鉄道事業者の状況①

YASHIMA

【JR各社（単体）の運輸収入】

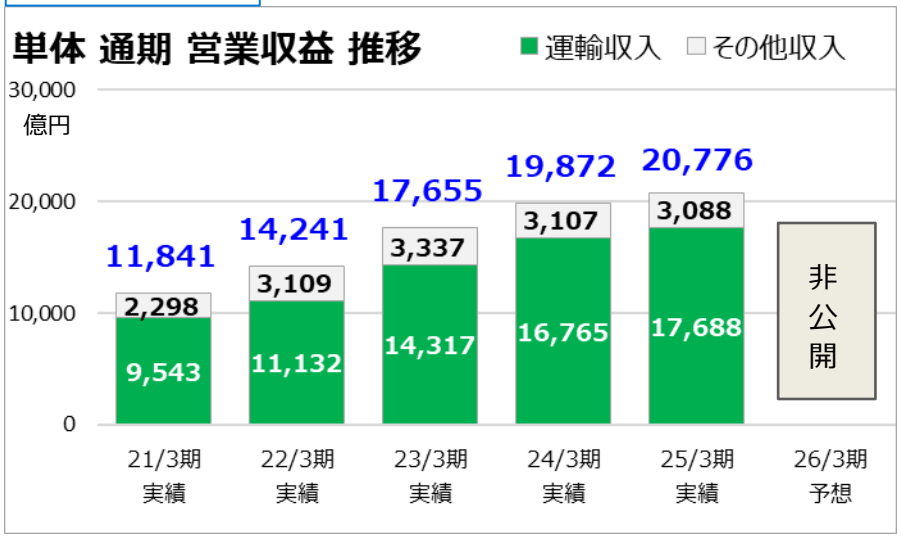
コロナ禍の影響緩和をきっかけに、円安傾向の後押しもあってインバウンド需要の取り込みや、国内旅行・出張需要の取り込み等もあって、運輸収入は徐々に回復

一方でリモートワークの普及等に代表される生活様式の変化や、人口減少傾向を受けた将来的な旅客数減少懸念も

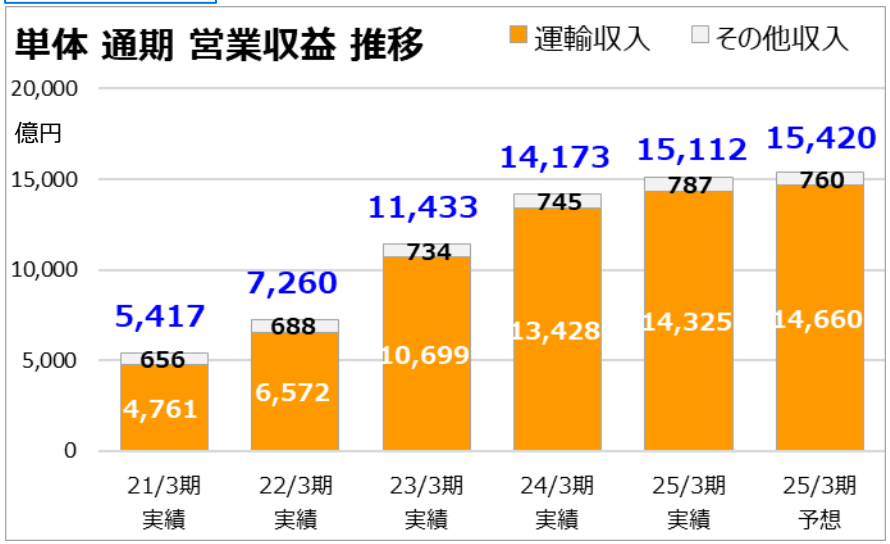
⇨各社とも鉄道事業以外の収益源開拓や、省力化や効率化による収益力向上を模索

※大手民間鉄道事業者についても同様の傾向がみられる

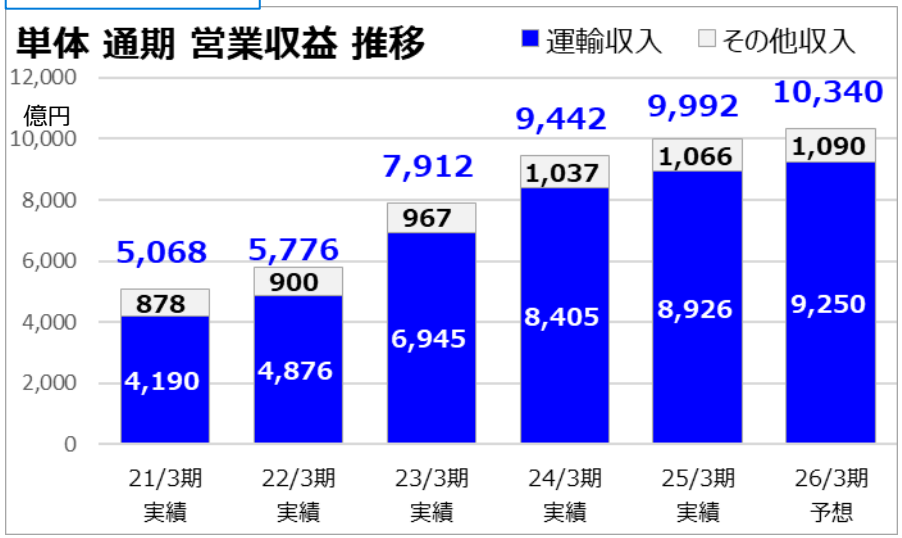
JR東日本



JR東海



JR西日本



鉄道事業者の状況②

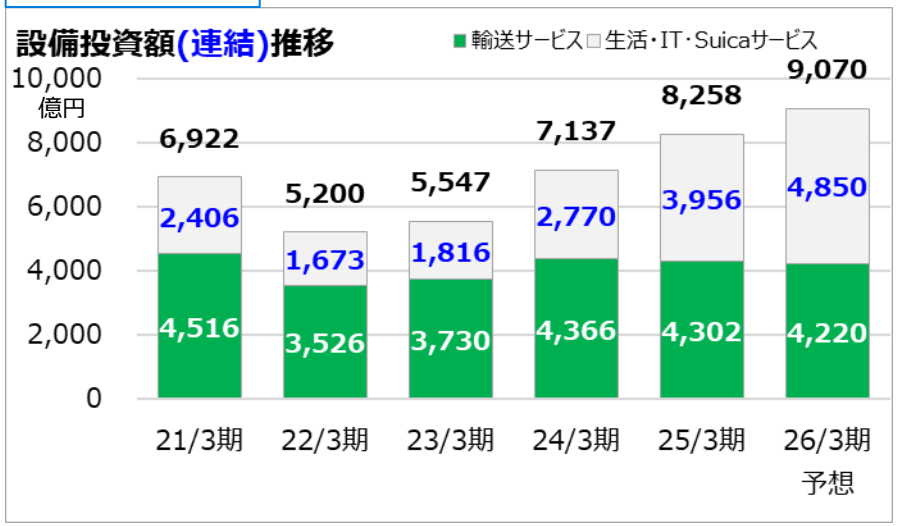
YASHIMA

【JR各社の設備投資意欲が回復】

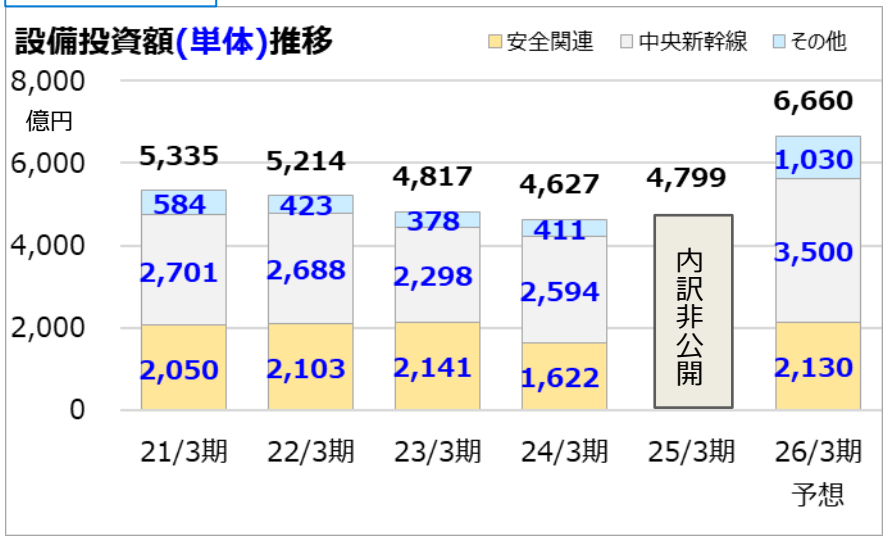
コロナ禍による運輸収入減少を受けて抑制されていた設備投資は、概ねコロナ前かそれを超える水準に回復

⇨26/3期は各社とも当社の事業領域である安全投資や輸送サービスに関する設備投資は横ばいから増加の計画を発表しており、売上高は25/３期から増加することが期待できる

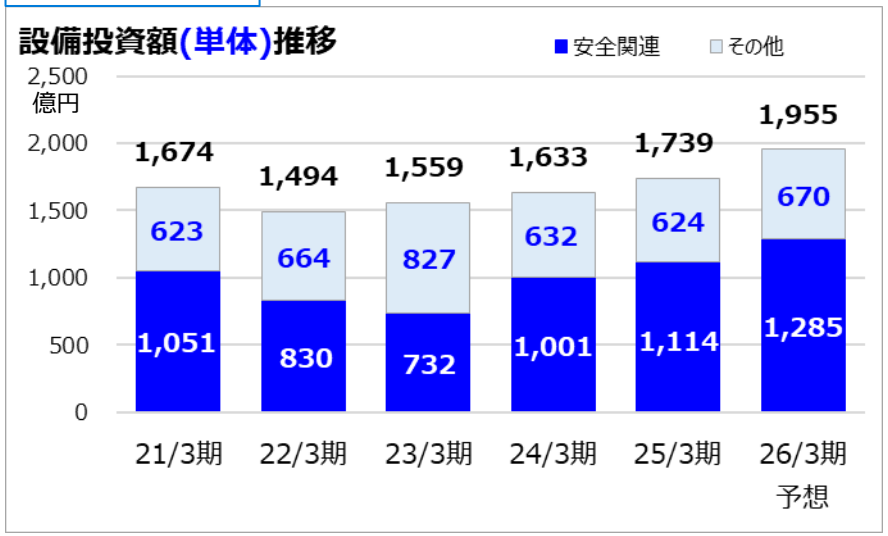
JR東日本



JR東海



JR西日本



2026年3月期　第１四半期決算

YASHIMA

■ 顧客の製造工程の前倒し等により、第２四半期以降に予定されていた納品が前倒しとなって第１四半期に集中した結果、前年同期比で大幅な増収・増益

金額単位（百万円）	25/３期 第１四半期	26/３期 第１四半期	増減	前年同期比
売上高	6,371	**8,070**	＋1,699	＋26.7%
営業利益	▲13	**67**	+80	-
経常利益	▲112	**115**	+227	-
親会社株主に帰属する当期純利益	▲120	**115**	+236	-

業績予想

YASHIMA

- 売上高は好調な受注環境を反映し増収の予想
- 一方で人材競争力強化のための賃上げ、社内体制強化等の企業価値向上に向けた投資に加えて、営業活動の強化のために経費が増加するため、26/3期の段階利益の伸びは限定されると予想

金額単位（百万円）	25/３期 実績	26/３期 予想	増減	前期比
売上高	29,046	**30,000**	+953	+3.0%
営業利益	▲44	**150**	+194	-
経常利益	▲511	**290**	+801	-
親会社株主に帰属する当期純利益	▲509	**190**	+699	-

記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

5.　配当・株主還元

配当方針

当社は、株主に対する利益還元と内部留保の充実や、収益性、成長性、企業体質の強化等を総合的に勘案して、安定的な配当の継続維持を基本方針としております。

	23/３期	24/３期	25/３期	26/３期 (予想)
１株当たり年間配当額	25.00円	25.00円	25.00円	25.00円
１株当たり当期純利益	▲90.78円	137.16円	▲177.73円	66.22円
配当金総額（合計）	71百万円	71百万円	71百万円	71百万円
配当性向（連結）	－	18.2%	－	37.7%

2026/３期は安定継続配当の面から**１株当たり年間配当額は25.00円とする方針です。**
現時点での配当性向は37.7%となる予想です。

株主優待制度①

９月末に100株以上を保有する株主様を対象に、株主優待を行っています。

株主様の日頃のご支援への感謝と、当社株式への魅力をより一層高め、中長期的に保有いただける株主様の増加を図ることを目的としています。

保有株式数及び保有期間に応じて優待ポイントが贈呈され、そのポイントを特設サイト**「ヤシマキザイ・ プレミアム優待倶楽部」**にて、2000点以上の商品からお好みの商品をお選びいただけます。（社会貢献活動への寄付も可能です）

※優待ポイントは最大２回まで繰越可能です。

※株式の長期保有には長期保有特典としてポイントが加算されます。

YASHIMA 株式会社ヤシマキザイ × Premium プレミアム優待倶楽部

株主優待制度②

【ポイント付与方式の株主優待】

毎年9月末日の株主名簿に、100株以上保有する株主様の保有株式数に応じてポイントを贈呈いたします。

＜初回のポイント数＞

保有株式数	付与ポイント
100～299株	3,000ポイント
300～499株	5,000ポイント
500株以上	10,000ポイント

【長期保有特典ポイント】

9月末日の株主名簿に同一株主番号で連続2回以上かつ100株以上保有が記載された株主様へ下記の長期保有特典ポイントを贈呈いたします。

保有株式数	初回付与	長期保有特典	合計
100株以上	3,000ポイント	500ポイント	3,500ポイント
300株以上	5,000ポイント	1,000ポイント	6,000ポイント
500株以上	10,000ポイント	2,000ポイント	12,000ポイント

詳細は、弊社ＷＥＢサイトにも掲載しておりますので、どうぞご参照ください。

https://www.yashima-co.co.jp/ja/ir/stock/dividend.html

6.　トピックス

YASHIMA

１．南海電気鉄道様 「新観光列車」について

現在運行中の観光列車「天空」に代わる、新たな観光列車の運行開始が予定されており、当社はその車両の設計の一部や部品手配の一部について担当いたします。

- 運転台周辺や車両の床下に搭載する機器配置の設計
- インバータ制御装置や車両連結部のドア装置等の電気用品
- 車両の内装関係の一部部品

（新観光列車内装イメージ）

列車は４両編成で、難波駅～極楽橋駅の間を、2025年度末にデビュー予定です。
ご期待ください！

YASHIMA

2．鉄道技術展2025への出展

新規商材の開発と拡販によって、
鉄道事業の領域拡大を目指します

・2025年11月26～29日　幕張メッセにて開催
（URL: https://www.mtij.jp/ ）

過去開催時の当社ブースの様子

＜出展テーマと主な商材＞

＊鉄道車両・工場設備製品

高所作業車
電気式赤外線ヒーター
鉄道車両用コネクタ
車載カメラ・次世代通信技術

＊デジタルソリューション

踏切内滞留検知システム
AI画像認識ソリューション
検査データ管理ソリューション
AI「ハチョDX」

＊省人・省力化製品

ネットワーク機器フリーズ対策
ウルトラファインバブル生成装置
レール温度測定装置
音声誘導装置

＊次世代モビリティ

Zippar（自走式ロープウェー）

YASHIMA

３．システム開発による提案営業の推進

SaaS型販売管理システム『ハチョDX』

【４つのポイント】

① 各業界対応可能な**クラウド型**管理システム!

② 少量多品種の部材に秀でた**販売・調達・在庫管理**ができる!!

③ 一般の販売管理パッケージに比べて**安価**に導入可能!

④ **シンプルな操作性**、だれもが使いやすいデザイン!

『ハチョDX』

（https://hacho.co.jp/LP/）

是非Webサイトをご覧下さい！

ハチョDX

YASHIMA

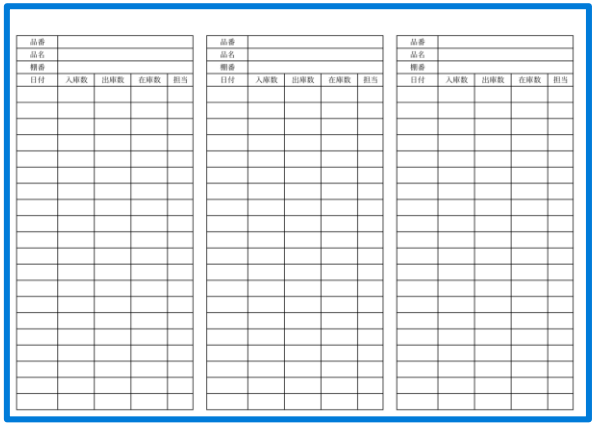
SaaS型販売管理システム『ハチョDX』にAIアシスタント機能を搭載！

YASHIMA

泉北高速鉄道様で資材管理システムを導入していただきました。

(※2025.4.1　南海電気鉄道様に吸収合併されましたが、継続してご利用いただいております)

紙ベースでの資材管理を、QRコード等を駆使して効率化
お客様が所持するスマホとも連動可能



YASHIMA

４． 新交通システムへの取組み

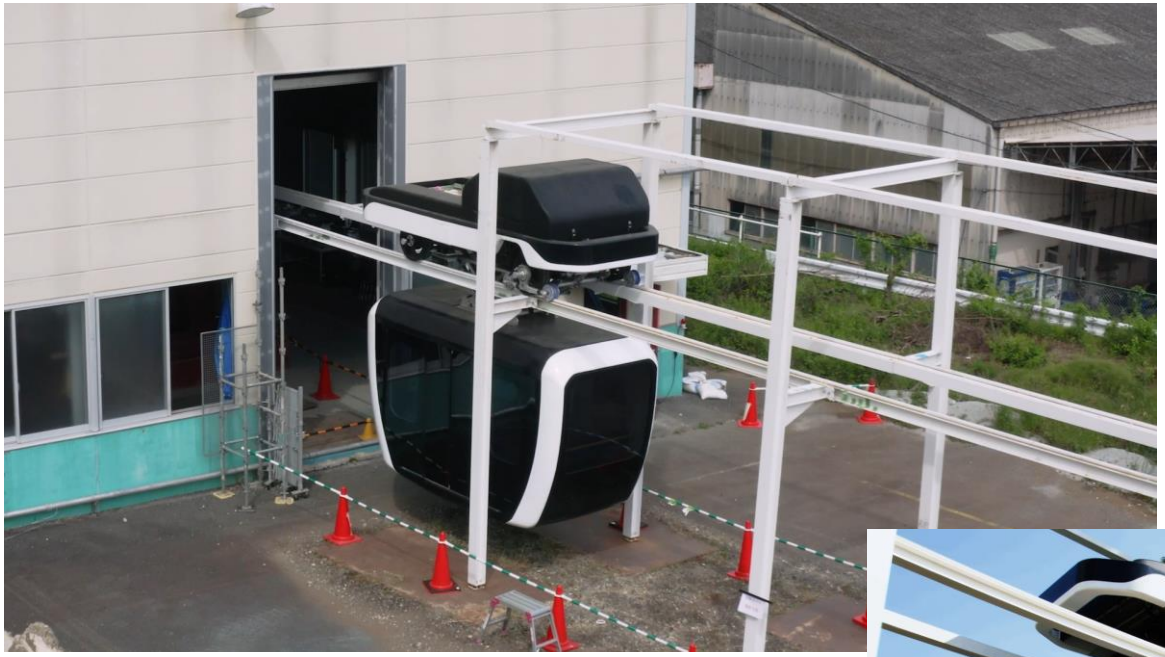
【自走式ロープウェーへの投資】

2024年８月に自走式ロープウェー「Zippar」を開発する **Zip Infrastructure**（ジップ・インフラストラクチャー） **株式会社**（福島県南相馬市）への資本参加を実現し、新交通システム開発への参画も進めています。

⇨ **企業価値向上と、将来的な収益源の開拓を目指しています**

YASHIMA

自走式ロープウェイ「Zippar」 実験線の映像



トピックス

YASHIMA

<「Zippar」の主な特徴>

空間の有効活用	デッドスペースとなっている道路上の空間などを有効活用
低コスト	既存のモノレールの半分の輸送量を、約1/5のコスト・期間で建設可能
自動運転	時間帯や路線など、旅客需要に応じて車両数の増減が可能
自由設計	ロープとゴンドラが独立しているため、カーブや分岐に対応可能
安全対策	ロープを2本とし、通常ロープウェイの1.5倍の風速まで運行可能

これにより、既存の交通インフラの隙間を埋め、
渋滞緩和や街づくりに貢献。

Zip Infrastructure社　ウェブサイト

https://zipinfra.co.jp/index.html

も、ぜひご覧ください。

自走式ロープウェイ「Zippar」試作車

YASHIMA

5．出品型鉄道専門 フリーマーケットサイト「鉄道ひろば」

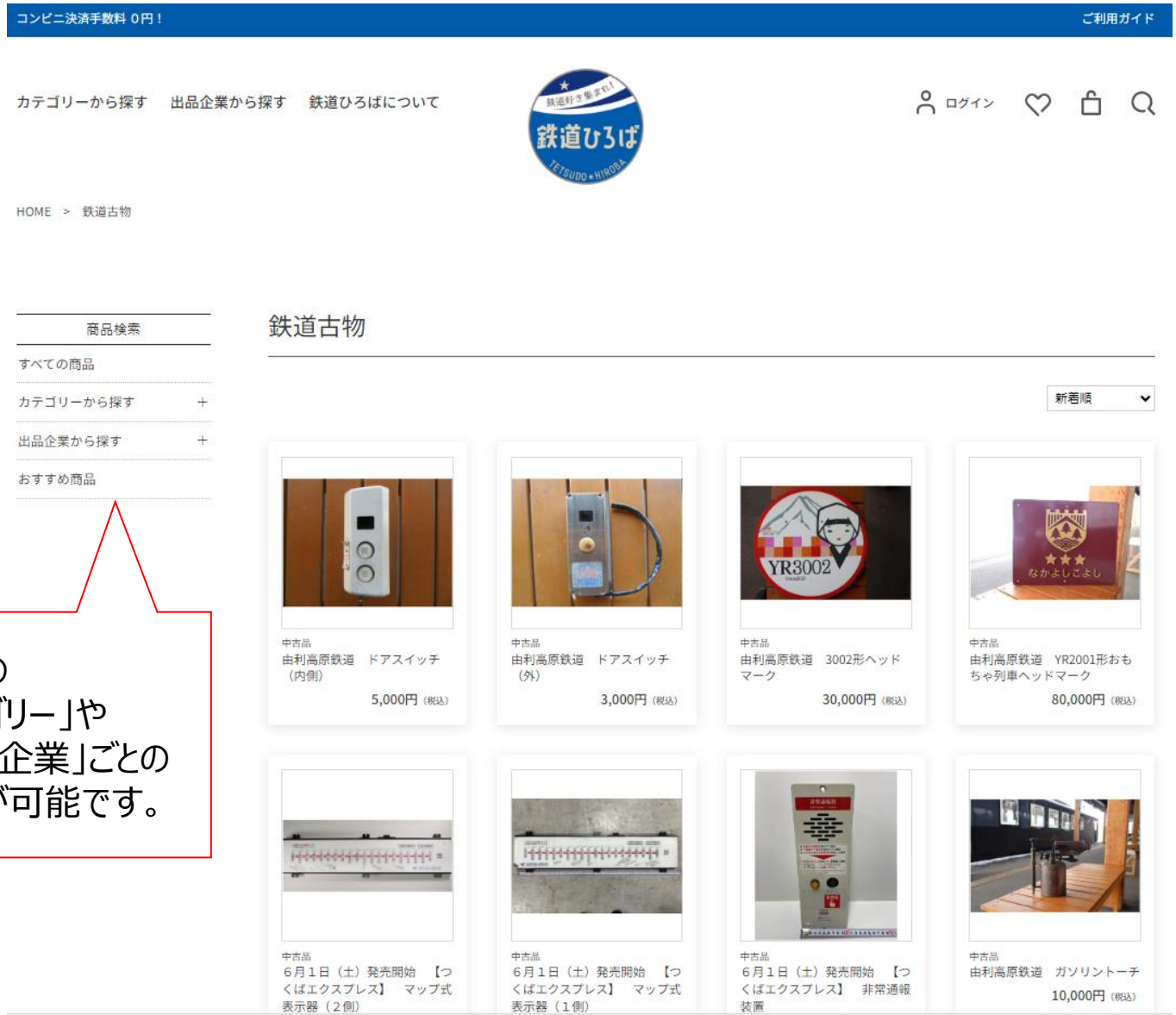
鉄道の持つすばらしさとその価値を広く発信・共有したいという思いから、鉄道事業者や鉄道関連企業が鉄道古物や鉄道グッズ等を出品できる「鉄道ひろば」を 2022年12月１日にオープンし、出品企業や商品ラインナップも順次拡大しております。

この取り組みが出品企業のマーケット拡大や収益向上と、鉄道沿線地域活性化の一助となることを願っております。

なお、**株主優待制度でお渡しするポイントを「鉄道ひろば」のクーポン券と交換することが可能です。**
（交換時期は 11月中旬～２月末 の予定）

YASHIMA

【「鉄道ひろば」のサイト画面】

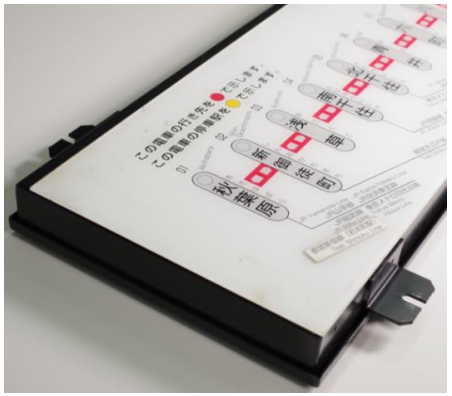


商品の
「カテゴリー」や
「出品企業」ごとの
検索が可能です。

トピックス

YASHIMA

【「鉄道ひろば」の主な商品ラインナップ】



鉄道古物

鉄道グッズ

鉄道イベント（運転体験等）

食品

ほか各種

【出品企業（一例・敬称略）】

つくばエクスプレス　京王電鉄　えちぜん鉄道　水間鉄道
高松琴平電気鉄道　土佐くろしお鉄道　長良川鉄道　宇都宮ライトレール…
ほか全国の鉄道事業者様・鉄道関連企業様

商品・出品企業を順次拡大中！
ぜひ、配付資料にあるチラシと、
WEBサイトをご覧ください！

鉄道ひろば　鉄道ひろば
https://www.tetuhiro.com/

WEBサイト　Instagram

トピックス

YASHIMA

「鉄道ひろば」のクラウドファンディング機能

第一弾・第二弾ともに目標金額を達成！

【クラファン】（寄付型）空を走る次世代の都市交通をあなたの手で実現させて、いち早く乗ろう！！（Zip Infrastructure株式会社）

集まっている金額

¥9,685,000 (目標 ¥5000000)

目標達成率 194%

募集期限 2025年03月20日

残り時間 終了しました

プロジェクトは成立しました！

終了報告書を読む

【クラファン】みんな大好き食品サンプル列車を今後も多くの人に乗ってもらうためにメンテナンス＆リニューアルがしたい！（長良川鉄道）

集まっている金額

¥1,095,900 (目標 ¥1000000)

目標達成率 110%

募集期限 2025年07月12日

残り時間 終了しました

プロジェクトは成立しました！

終了報告書を読む

クラウドファンディング第一弾として
「Zip Infrastructure(株)」の開発費用を募集

目標金額500万円に対し、達成率194%を実現

クラウドファンディング第二弾として、
長良川鉄道(岐阜県)様の
「食品サンプル列車メンテナンス＆リニューアル」資金
目標金額100万円を達成！

YASHIMA

自走式ロープウェイ「Zippar」

現在、福島県南相馬市に新しい実験線を建設中。
「鉄道ひろば」のクラウドファンディングで得られた資金が活用されています。

トピックス

「鉄道ひろば」のクラウドファンディング機能

⇨ 魅力のあるコンテンツの提供により参加事業者の拡大を目指しています

クラウドファンディング第三弾として、北陸鉄道(石川県)様の「応援プロジェクト」を開始
締切は9月29日まで　目標金額は300万円　**ご参加をお待ちしております！**

クラウドファンディングをはじめ、「鉄道ひろば」を通じて、
地方鉄道事業者との連携を強化、地域社会・公共交通の振興に貢献しています

鉄道事業者等が将来を見据えて鉄道中心から多角化への方向性を模索する等、当社を取り巻く環境には未だ厳しい部分もありますが、
当社はその活動を通じてステークホルダーの皆様、そして社会に役立てるように努めてまいります。

本日はご多忙中にも関わらず、ＩＲセミナーにご参加を頂きまして、ありがとうございました。

これからもヤシマキザイをよろしくお願い致します。

ご清聴、ありがとうございました。

（7677）株式会社ヤシマキザイ

2025年 8月 27日　個人投資家向けＩＲセミナー

（主催：公益社団法人日本証券アナリスト協会　会場：北浜フォーラム）

7.　ご参考資料

ヤシマキザイの歩み

年月	概　要
1948年10月	香西角三郎他６名を発起人とし、資本金25万円で東京都中央区に 八洲器材株式会社 として設立
1951年８月	振興造機株式会社（現　神鋼造機株式会社）と 代理店契約 を締結
1962年４月	株式会社日本エヤーブレーキ（現　ナブテスコ株式会社）の 販売代理店 となる
1965年10月	株式会社日立製作所「鉄道車両用品」の旧国鉄向け 販売代理店 となる
1971年８月	神鋼電機株式会社（現　シンフォニアテクノロジー株式会社）の 販売代理店 となる
1977年10月	日本航空電子工業株式会社「コネクター及び同関連製品」の 特約店 となる
1990年４月	小糸工業株式会社（現　コイト電工株式会社）「鉄道車両部品」の 特定地区向け代理店 となる
1995年４月	東京都中央区に子会社 ヤシマ物流株式会社 設立（100%出資）
2004年４月	中国現地法人　亜西瑪（上海）貿易有限公司 を設立（100%出資）
2008年１月	三友物産株式会社 を子会社化（100%出資）
2011年10月	日立三菱水力株式会社「水力発電システム」の 販売代理店 となる
2013年11月	本社を現所在地に移転（東京都中央区日本橋兜町６番５号）
2013年12月	当社の商号を 株式会社ヤシマキザイ に変更
2017年４月	三友物産株式会社 を吸収合併
2019年６月	東京証券取引所 市場第二部 に上場
2022年４月	東京証券取引所 市場区分の見直しにより　市場第二部から　スタンダード市場　に移行

会社概要

YASHIMA

社　　名	株式会社ヤシマキザイ　　【英文名】Yashima ＆ Co.,Ltd.
本　　社	東京都中央区日本橋兜町6番5号
代　表　者	代表取締役社長執行役員　髙田　一昭
設　　立	1948年10月28日
資　本　金	9,990万円
従 業 員 数	266名（2025年3月末現在 連結）
事 業 内 容	鉄道関連製品と産業用電子部品の販売、メンテナンスサービスおよび輸出入

連結子会社

名称	住所	資本金	事業内容	議決権の所有(又は被所有)割合	関係内容
ヤシマ物流株式会社	東京都中央区	40,000千円	鉄道事業、一般事業	100.0%	物流業務等の委託
亜西瑪(上海)貿易有限公司	中国上海市	1,000千US$	鉄道事業、一般事業	100.0%	商材の仕入・販売 借入債務の保証

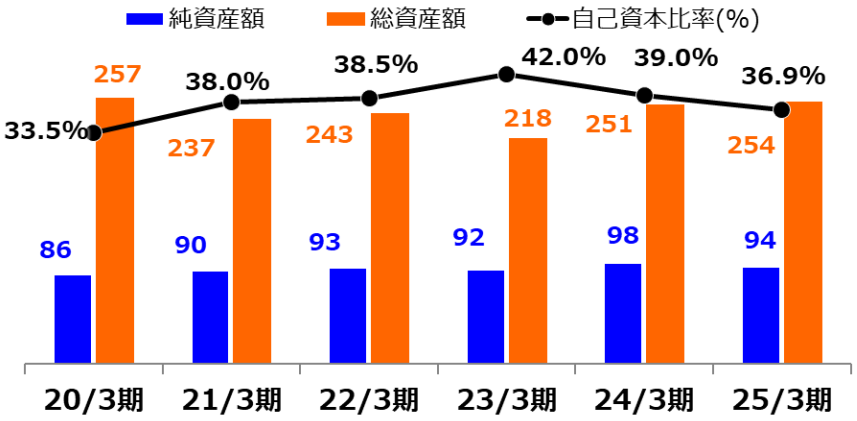
※両社とも特定子会社　※有価証券届出書又は有価証券報告書を提出している会社はありません。

海外拠点

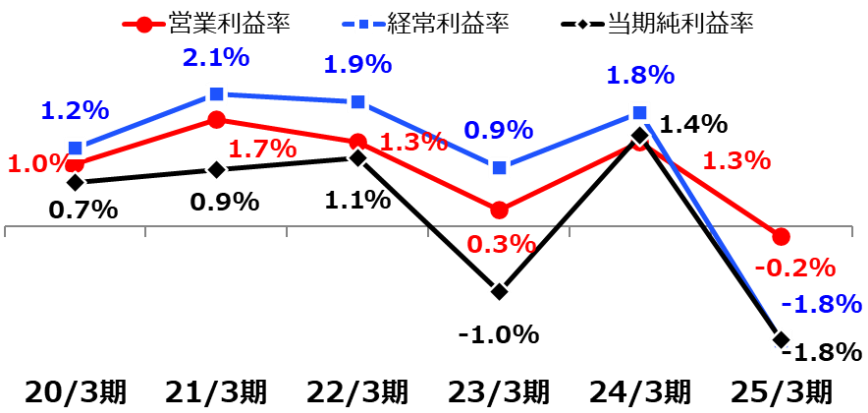
デリー支店、ムンバイ支店、ハノイ駐在員事務所、ジャカルタ駐在員事務所、マニラ駐在員事務所、ロンドン事務所
■上海会社(現地法人)：上海・青島・深圳

業績ハイライト

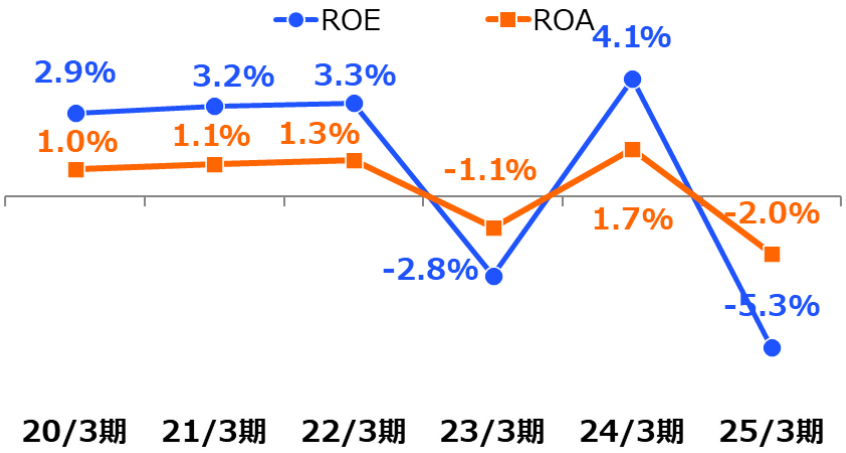
総資産・純資産 の推移 (億円)



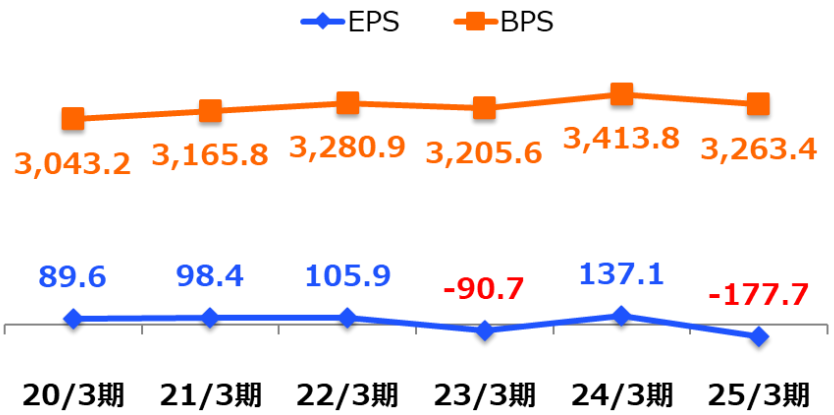
利益率 の推移



ＲＯＥ・ＲＯＡ の推移



ＥＰＳ・ＢＰＳ の推移



経営理念・行動準則

YASHIMA

【経営理念】

一．ヤシマキザイは、鉄道・交通ビジネスに強い専門商社として、
限りの無い成長を目指します

二．ヤシマキザイは、人材育成を通して、
会社の成長を社員と分かち合います

三．ヤシマキザイは、法令を遵守し、良き企業市民として
社会に貢献します

【行動準則】

一．３現主義（「現場」「現物」「現実」）を
基本にして行動する

二．コンプライアンス行動原則に基づき行動する

東証スタンダード市場　証券コード：7677

株式会社ヤシマキザイ

https://www.yashima-co.co.jp/

【お問い合わせ先】　経営企画室
ＴＥＬ：03-4218-0096
E-mail：contact-ir@yashima-co.co.jp